

(新) 国際機関への生物多様性専門家派遣経費

21百万円(0百万円)

自然環境局自然環境計画課生物多様性地球戦略企画室

1. 事業の概要

本年3月にドイツ・ポツダムにおいて開催されたG8環境大臣会合、及び6月に同国・ハイリゲンダムにおいて開催されたG8会合で生物多様性の保全が主要議題の1つとしてとりあげられるなど、生物多様性に対する国際的な関心が高まってきている。

本年1月、政府は生物多様性条約の第10回締約国会議(COP10)を、愛知県名古屋市で開催すべく立候補することについて閣議了解し、その旨国際的にも発表したところ。

今後、日本が生物多様性の分野において国際的なリーダーシップを発揮するとともに国際的な連携を強化することが国内外から期待されている。生物多様性条約の枠組みにおける日本の国際貢献や、各国政府、国際機関等との連携を強化することが重要であり、そのためには、生物多様性条約事務局に我が国から人材を派遣し、同事務局との意思疎通を促進することが必要。同事務局からも我が国からの人材派遣について強く要請されている。

専門家の派遣に要する経費は、派遣国政府の負担となっているため、生物多様性条約事務局へ長期の専門家を派遣するために要する経費を計上するもの。

2. 事業計画(平成20年度～平成22年度)

平成20年度 拠出金の拠出

平成21年度 拠出金の拠出

平成22年度 拠出金の拠出

3. 施策の効果

生物多様性条約事務局に、わが国から専門家を長期派遣することにより、生物多様性条約に関連する最新の情報や動向を把握するとともに、日本から事務局への情報の提供や働きかけを円滑かつ効果的に行う。

生物多様性分野での国際的なリーダーシップの発揮と国際的なパートナーシップの強化を図る。

4. 備考

拠出金 21,039千円 (内訳) 専門家派遣経費 21,039千円

国際機関への生物多様性専門家派遣経費

生物多様性に関する国際的な動き

生物多様性に対する国際的な関心の高まり
・G8環境大臣会合
（2007年3月ドイツ・ポツダム）
・G8サミット
（2007年6月ドイツ・ハイリゲンダム）
「生物多様性」が議題に

2007年1月
生物多様性条約COP10(2010開催)を
愛知県名古屋市に招致することを閣議了解

2007年秋:
第3次生物多様性国家戦略の策定(予定)
現在:見直し作業中

環境重視の日本を世界にアピール
・G8環境大臣会合（2008年5月神戸市）
・G8サミット（2008年7月洞爺湖地域）



長期専門家の派遣

生物多様性条約

条約事務局: モントリオール(カナダ)

事務局長: アーメッド・ジョグラフィ氏

職員数 : 78人



専門家を派遣することにより期待される成果

- ・生物多様性条約に関連する最新の動向の把握、情報の収集
- ・日本からの事務局への円滑かつ効果的な情報提供及び働きかけ
- ・生物多様性分野での国際的なリーダーシップの発揮と国際的なパートナーシップの強化

COP10(2010年:愛知県名古屋市(予定))